

の芽生え等の成果がみられています。現在は8市町が実施しており、今後、全市町村に事業を拡大する方向で検討しています。

また、自死遺族の方々等の心理的支援と相談などに対応することを目的に、平成19年8月から「あきたいのちのケアセンター」を設立しています。

なお、民間団体の活動も活発に展開されており、「秋田いのちの電話」「蜘蛛の糸」「心といのちを考える会」などが、電話相談、中小企業経営者等の相談、地域づくり活動とそれぞれの分野で活動し、県の自殺予防対策の一翼を担っています。平成18年12月には、九つの団体・個人が「自殺予防こころのネットワーク」を設立し、19年7月15日の「自死遺族支援全国キャラバンin秋田」では主体的にフォーラムを企画・実施するなど、行政と協働で活動しています。

これまで秋田大学を始めとして、県医師会、市町村等多くの関係機関・民間団体の協力を得て対策に努めてまいりましたが、今後も多くのご意見や提言をいただきながら自殺予防対策の充実に努め、息の長い取組として進めてまいります。

(秋田県健康福祉部健康推進課)

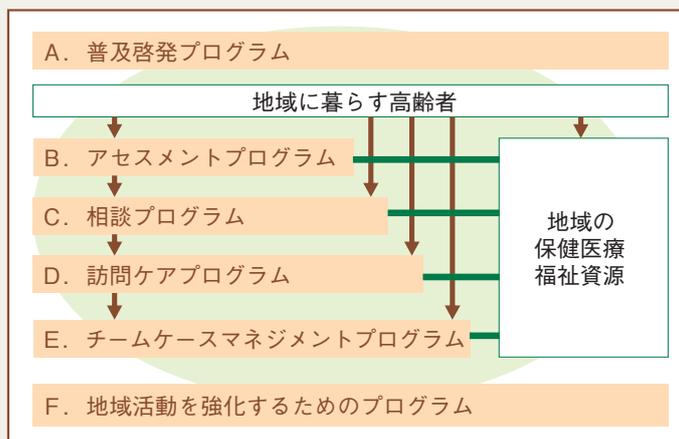
事例紹介11 地域の取組

仙台市の抑うつ高齢者等地域ケア事業

仙台市は宮城県の中央部に位置し、東北地方における経済・行政の中核都市です。県内の他市町村や他の大都市と比べると高齢化率は高くないものの、近年の出生率の低下を反映して相対的に高齢化率が高まる傾向にあります。また、高度成長期に造成された団地群においては、急速な高齢化と地域コミュニティの希薄化に伴い、高齢者の孤立化が進んでいます。そのような中、本事業を展開するきっかけとなったのは、東北大学の「高齢者の閉じこもり予防と介護予防のための指導プログラムの開発」を目的とした研究等へ、仙台市が協力したことに端を発しています。研究終了後モデル事業を通し、仙台市抑うつ高齢者等地域ケア事業を開発、平成19年10月から市内全区において事業展開ができるよう、現在体制整備に取り組んでいます。

この事業では、うつ状態にあり社会的に孤立している高齢者を早期に発見し適切な医療につなげるとともに、健康問題や社会的孤立に対する支援を提供することにより、高齢者の自殺予防やうつ状態の改善、ひいては介護予防や健康寿命の延伸に寄与することを目指しています。具体的には以下の六つのプログラムを組み合わせることにより、事業が構成されています。A. 普及啓発プログラム：うつ病の理解を広め偏見を解消し、こころの健康問題への取組を促進することを目的とし

＜うつ高齢者のための地域ケアプログラム＞



す。B. アセスメントプログラム：うつ病を発見して治療とケアに結びつけるため、2段階で構成されたアセスメントツールを用いて実施します。C. 相談プログラム：様々な悩み事に応じる、うつ病やその他の精神疾患を診断する、必要な情報を提供する、医療機関と連携する等、精神科医師を交えたチームにより行います。D. 訪問ケアプログラム：うつ病に対する心理社会的ケアを看護師等が継続的に提供します。E. チームによるケースマネジメント：複雑で多様な問題を解決していくために、対策を練ったり、計画を立てたり、役割分担をしてチームで支援を行います。F. 様々な地域活動の強化：ソーシャルサポートの資源となる住民レベルでの地域活動を支援します。

今後この事業を展開していく中で、100万の人口規模の都市においてどのような形態がより効果的・効率的に介護予防や自殺予防につながるのかを確認し、事業内容を強化しながら展開していくことが重要であると考えます。また、人材の育成と市民グループの参加が事業を有効に実施する鍵を握っていると考えます。

(仙台市健康福祉局健康福祉部障害企画課)

事例紹介12 地域の取組

鹿児島県におけるうつ・自殺対策

自殺の誘因は経済問題や健康問題、家庭問題など様々ですが、自殺者の多くはその背景にうつ病などの精神疾患の関与があるといわれています。

鹿児島県においても自殺者数が年間480名前後で推移しており、ここ数年微増傾向にあります。平成13年に策定された当県の健康増進計画「健康かごしま21」においても、こころの健康についての知識の普及啓発とうつ病の早期発見、早期治療、再発防止等を掲げ、自殺者数の2割以上の減少を目標に施策を展開しています。ここでは鹿児島県におけるうつ・自殺対策について川薩保健所の取組を中心にご紹介します。

自殺対策は地域の課題という認識を共有し、地域のキーパーソンそれぞれが自殺対策に主体的に取り組むことができる地域体制づくりを目指して「こころの健康づくり連絡会」を年2回開催しています。この連絡会には民生委員や商工会、地域婦人会、高齢者クラブ、医師会、警察署など多くの関係機関の方々に参加いただいています。

また、一般住民向けの自殺予防や精神保健に対する正しい知識の普及啓発活動として管内市町と協働で講演会や公民館講座、健康まつりなどを開催するとともに地域のキーパーソン向けの啓発活動を行っています。情報誌の発行や自殺予防対策人形劇DVDの作成、啓発資料入りカットバンやティッシュの配付も行っています。こころのケアバッジも本所で作成し、啓発のため関係者が着用しています。平成18年度には病院勤務の看護師を対象とした「こころのケアナース養成講座」も開催し78名の修了生が各地の病院で相談、支援に活躍しています。19年度も同講座と昨年度の修了生向けの講座を開催予定です。

うつ病の重症化から自殺への進行を予防するための介入支援としては、住民に対し市町と

<こころのケアバッジ>

